

福岡県農業大学校 平成30年度外部評価目標

2018/3/27

評価テーマ	福岡県農業を担う人材づくり
重点目標	自営就農、県内農業法人への就農
目 標	卒業生・修了生の就農者割合 70%
実 績	

	H29 実績値	30年度取組計画	H30 目標値
養成科 ○受験機会の拡大 ・推薦入学試験について、自営農業者希望者のみではなく雇用就農希望者についても対象とする。 ・一般入学試験について、従来の12月に加え3月にB日程を実施することで、学力・意欲ある学生が、農大への受験が可能となるようにする。	雇用就農希望 推薦者数8名 /13名 2回 (A:12月、B:3月)	○就農を目指す学生の受験機会の拡大 ・推薦入学試験について、雇用就農希望者も対象 ・一般入学試験について、B日程を実施	雇用就農希望 推薦者数10名 2回 (A:12月、B:3月)
○就農につながるカリキュラムの充実 ・29年度はGAPを政策1で2時間講義	講義2時間	○就農につながるカリキュラムの充実 ・新規にGAPを1講義15時間 ・農機整備演習にほ場耕起を追加 ・校外視察研修の研修先を農大OBとする ・農産物の直売所販売を拡充	1講義15時間 ほ場耕起4時間 1講義28時間 販売回数52回
○進路セミナーの参加 ・就職希望学生にハローワークから講義	講義2時間	○雇用就農につながるスキルアップ ・就職希望学生に将来設計ゼミとして講義を拡充 ○雇用就農機会の拡充 ・就農相談会への参加 ・県内インターンシップ受入農業法人のリスト化	1演習 20時間 参加者数10人 受入法人数20件
○FAR夢プランの実施 ・若手農業者等の先進地研修と意見交換会を開催	参加者数 2回、87人	○就農をめざす農業高校生を確保(FAR夢プラン) ・若手農業者等の先進地研修と意見交換会を開催	参加者数 2回、80名
○学校外部との連携強化 ・農福連携で、福祉施設職員と障がい者への農業体験を実施	参加者数 4回、41人	○就農をめざし、学校外部との連携強化 ・農福連携で、福祉施設職員と障がい者への農業体験を実施 ・JA筑紫等との連携協定の締結	参加者数 4回、40名 協定締結数1件
研修科 ○福岡地区の就農相談会への参加 ・1月に後継人材育成室主催の相談会に参加。	参加者数 120人	○福岡地区、北九州地区の就農相談会への参加 ・後継人材育成室主催の相談会に参加	参加者数 140人
○北九州地区の就農相談会に新たに参加 ・参加	20人		
		○先進農家研修の充実 ・就農につながる研修を実施	研修者 20人
		○普及センター及びOBとの連携強化 ・就農にあたって普及センター、OBへの相談	相談 延べ30人
○入校希望者に対する個別相談 ・普及指導センターからの情報 ・推進機構からの情報	17件 8件	○入校希望者に対する個別相談 ・普及指導センターからの情報 ・推進機構からの情報	20件 10件